

サンフレンズだより

No.32 2006.7.20
 発行：社会福祉法人 サンフレンズ
 編集：法人本部 事務局
 〒167-0023
 杉並区上井草3-33-10
 03-3394-9833

高齢者福祉の動向とサンフレンズ

理事長 大友 信勝

サンフレンズはだれもがその人らしく安全に、安心して暮らせるようにと法人運営を考え、取り組んでいます。昨今の高齢者を取りまく社会保障や生活関連政策をみていると利用者、ご家族はどのように考えていらっしゃるのか。最近、幾つか気になることがあります。高齢者は裕福で、世代間の公正をはかるために応分の支払いを求めるべきとの声や施策が社会的に強まる傾向にあります。高齢者への課税強化、国民健康保険料の増加と医療費負担の増大、年金受給の削減等と続く中で介護にも新しい波が及んでいます。

厚生労働省の国民生活基礎調査でも世帯の所得が二極化してきており、特に高齢者世帯に問題がみられることを報告しています。高齢者介護施設は2005年10月から居住費と食費(調理コストを含む)が利用者負担となり、2006年4月から介護報酬がさらに厳しくなっています。利用者・ご家族の負担が増え、法人の収入も減ってきています。介護報酬の収支は、人件費の割合が大きく影響するので都市部の法人に厳しく問題が現われます。

このような時代であるからこそ、法人の理念や姿勢が事業内容にでてきます。当法人は杉並・老後を良くする会を母体にして、市民の願いと運動で創られた法人です。常に利用者、当事者の声を受けとめながら、高齢者の生活実態を把握し、最も困難な方々の願いに耳を傾け、皆様と共にこれからの法人運営にあたっていくことを大事に致します。

サンフレンズは次年度、善福寺(区民農園跡地)に特別養護老人ホームを個室・ユニット型で開設する準備を行なっています。認知症や在宅での生活が困難な要介護者に対し、新たな都市型モデルとなりうる実施設計をすすめており、行政的な手続きを経て、地域の

方々や皆様方には、早い機会に説明できるようにしたいと考えています。

配食サービスにかかわる個人情報保護紛失の事件ではご心配をおかけしましたが、当法人のこれからの実践を通して、サンフレンズへの新たなご信頼とご支持をいただけるように努力してまいります。

今年度、当法人では、新たな方向をうちだしていくために、事業計画の柱に「将来構想検討委員会」をたちあげ、「新しいサンフレンズを考えるプロジェクト」に取り組んでいます。

法人本部と上井草園についても新たな人事を7月10日からスタートさせました。当法人の管理・運営に尽力された佐藤徳光事務局長が勇退され、新任の事務局長に飯田勤があたります。飯田新局長は「ケアタウンたかのす」の専務理事、「風の村」施設長を経て、当法人の上井草園々長を担当しており、佐藤前局長の後任として重要な事業を担うにふさわしい人材だと考えています。上井草園々長には介護・看護課長として専門的業務の統括、指導に重要な役割をはたしてきた藤山邦子をあて、業務の連続性をはかりました。藤山は研究心が旺盛で先進地(モデル)比較も行っており、今後に期待の持てる人材です。この二人に対して、皆様のご理解とご支援を賜ることができれば幸いです。

当法人として、この二人を組織的に支える体制をつくりあげ、全役職員が力をあわせて新しい方向を切り拓き、サンフレンズの次の歴史を構築していきたいと考えています。

この厳しい時代をサンフレンズは皆様と力をあわせて、共に取り組み、杉並の地に新たな福祉文化を築いていきたいと考えています。今後共宜しくお願い致します。



善福寺三丁目特別養護老人ホーム 「個」の尊重で、「施設」が「住居」に変わります

サンフレンズは、2005年度から善福寺三丁目特別養護老人ホームの建設計画に取り組んできました。2006年度は、基本計画を経て、実施設計、そして本体工事の着工へと進みます。

「個の尊重で、施設が住居に変わります」を合言葉に、利用者主権、施設の在宅化、地域にでる、を計画の基本コンセプトとしてあげ、徹底した個別ケアで都市型モデルをめざします。今号では、施設の概要と理念、建設計画のスケジュール、図面を掲載します。

施設の概要と理念

1. 地域のニーズに応じて

(1) 定員

特別養護老人ホーム 定員 30人

ショートステイ 定員 4人

地域からの強い要望により、ショートステイを4人分確保します。

(2) 個室とユニットの連携(4棟)

トイレ付き個室

居室34室：全室個室「同じ広さ」・・・約15㎡

居室34室：「すべてトイレを設置」・・・約4㎡

全室「同じ広さとつくり」にすることで、居室替えが可能となります。

居住棟

一棟：9人(7人の特養利用者+2人のショートステイ利用者)×2棟=18人

一棟：8人(特養利用者のみ)×2棟=16人

各棟

居室の他、共同生活室、作業室(共同生活室の一部として)、トイレ、浴室を設置。

2つの空間(主に食事をする共同生活室と趣味活動の作業室)の設置は、居場所の確保であり、特に認知症高齢者のケアに有効です。

一棟がひとつの住宅となり、プライバシーの確保と基本的生活が完結(各棟の中に食堂や浴室、トイレがある)できます。

(3) 地域に開かれた中央棟

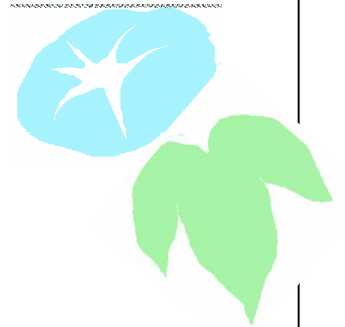
利用者同士や家族、ボランティアとの交流の場

地域住民が気軽に立ち寄れる場

地域の高齢者への在宅支援の場

(4) 地域の環境への配慮

地域とともに暮らしていくため、風致地区としての風情・美観を損なわないように敷地境界線には生垣と草木を植栽し、建物の意匠(構造や色彩等)にも十分配慮します。



2. 私たちのめざすところ

(1) 利用者主権

“利用者が意思決定を…”

利用者が、「自由」に暮らせます。

私たちは、利用者が最期まで「人生を築き上げる」ことを支援します。



「個」に焦点をあてた「個別ケア」

利用者との信頼関係を築き、利用者のこれまでの人生と今を知ります。そのつながりを手繰り寄せ、家族や地域、専門職のチームアプローチで個別ケアに取り組めます。

(2) 施設の在宅化

“利用者が住居と認める施設を…”

利用者は、「住居」に住みます。

私たちは、利用者の暮らしやすい「住環境」を確保します。



ハードの持つ介護力

大規模施設から小規模施設へ、施設から住居への転換を図ります。個室からユニット、パブリックスペースへと続く空間はわかりやすく、安心感のもてる居場所です。

(3) 市民生活

“利用者が社会の一員たる証を…”

利用者が「地域」に出ます。

私たちは、利用者との協働で「福祉文化」を創ります。



地域との架け橋

利用者のプライバシーは徹底的に守りますが、施設は地域開放型とします。利用者は施設で待つのではなく、自ら地域に出て、交流を深めます。

開設までのスケジュール

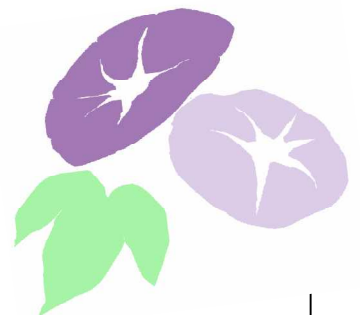
着工...2006年9月(予定)

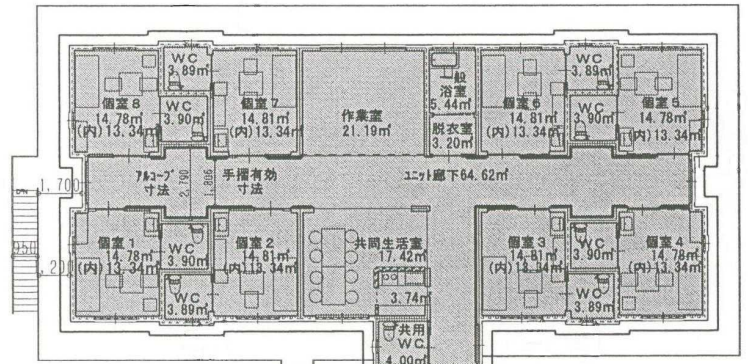
竣工...2007年5月(予定)

開設...2007年8月(予定)

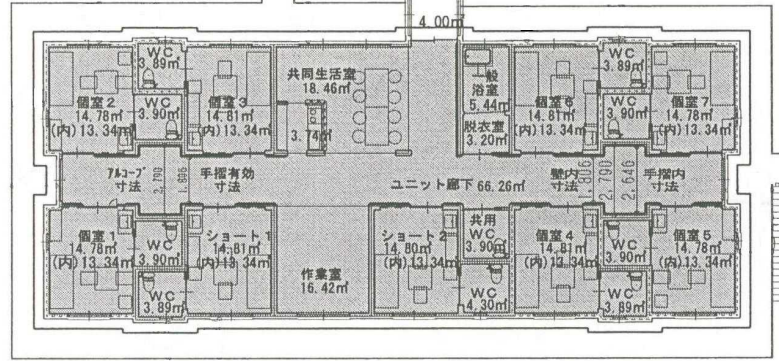
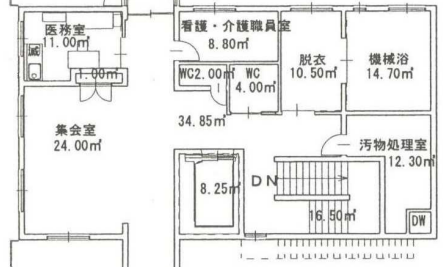
入居の申込みについて

入居のご相談やお申込みについては、現在のところ窓口を設置していません。詳細が決まり次第、サンフレンズだよりや各事業所などをおしてお伝えしますので、今しばらくお待ちください。



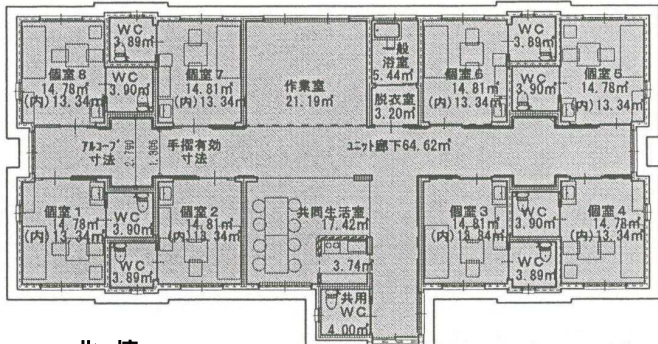


北棟

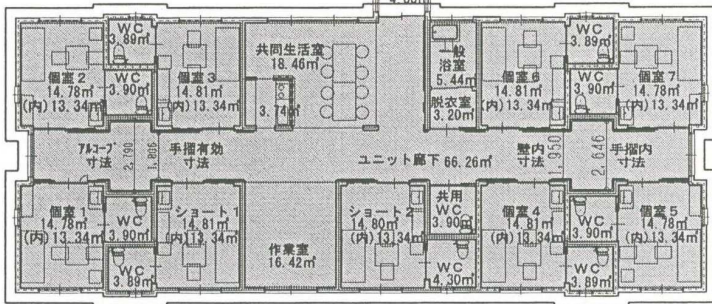
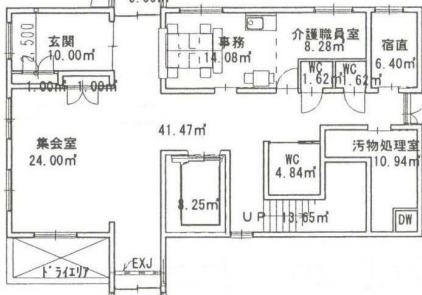


南棟

2階平面図

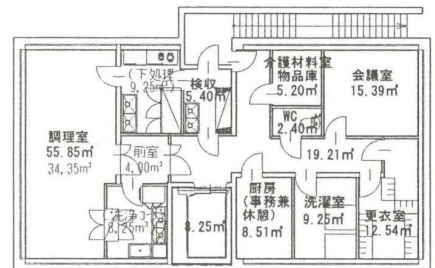
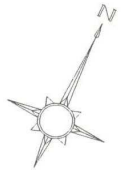


北棟



南棟

1階平面図



地下1階平面図

本部事務局長就任にあたって

飯田 勤



私が社会福祉法人サンフレンズの一員として上井草園長に就任したのが、今年の4月、そして、このたび人事異動で事務局長という大役を命じられました。園長としては1年3ヶ月の短い期間でしたが、この間、利用者ならびに家族の皆様には大変お世話になり、誠にありがとうございました。

さて、現在サンフレンズでは、法人待望の二つめの特別養護老人ホームの建設計画をすすめており、来年8月には善福寺三丁目に開

設いたします。サンフレンズは、杉並の老後をよくしたいと願う地域の人々が、自らの手で法人をつくりあげ、特別養護老人ホームはもとより配食サービスやデイサービス、ショートステイなどなど、「地域の声」=「サンフレンズの事業」として介護サービスを展開してきました。

私たちはこれまでも、そして、これからも「地域の声」、「利用者の声」をなによりも大切にし、皆様の「老後の安心」役としてその一翼を担ってまいります。そのためには、サンフレンズの介護サービスに対する皆様のご意見・ご要望を積極的におうかがいし、利用しやすいサービスを提供すること、信頼を得ること、皆様の法人運営への参加を得、より身近なサービス事業者になることが求められています。そんな事業者を目指すべく、私自身、まだまだ未熟ではありますが、組織をあげて取り組んでまいりますので、ご支援・ご協力のほどよろしくお願いいたします。

上井草園園長就任にあたって

藤山 邦子

上井草園に勤めて6年が経ちました。その間、利用者の皆様やご家族、ボランティアの方々から多大のご支援をいただき感謝申し上げます。また介護の質を向上させるために職員とは無我夢中で議論してまいりました。その職員にも改めて労をねぎらいたいと思います。

今後は、将来をしっかりと見据えた法人運営と上井草園の介護の質を向上させるためにさらなる舵取りの役割を担っていくこととなります。

その責務は重いものですが、私が福祉の仕事をしたと思った原点 - 利用者・家族の立場にたち、人間の心の温かさとプロの視点をあわせもった援助者になりたい - に立ち戻り、

勇気をもって、さらなる一歩を歩み始めたいと存じます。

利用者、家族、ボランティア、地域、職員が一体

となった運営、人間味溢れる豊かな施設を目指します。そのためには、職員の責任と役割を明確にした組織づくりと一人一人の豊かな考え、意見が反映されていく民主的な運営に取り組んでいく所存です。

力不足ではありますが、引き続きご支援、ご協力を賜わりたく、よろしく願い申し上げます。



ボランティア紹介



第18回

「いろんな事を通じて、皆さんと楽しい時間を過ごしています」...岸 泰子さん(写真左)
「皆さんとお話していると、教わる事が多いですね」...加賀谷 洋子さん(写真右)

「あらっ、今日、岸さんはおやすみ？」

「加賀谷さんは来てないの？」

木曜日の朝、デイルームにお二人の姿が見えないと、ご利用者の皆さんから職員にそんな声がかかります。

いつもにこにこと笑いながら、皆さんにお茶を出してくださったり、一緒に体操し、歌い、習字や手工芸、UNO、外出のお手伝いに来てくださる岸さんと加賀谷さん。

今回は、もはや松ノ木の木曜日には欠かせないお二人をご紹介します。

まずは、岸泰子さん。

ピンク色のシャツを爽やかに着こなした岸さんが「おはようございます」とデイルームに入ると、それだけで周りがぱっと明るくなります。そして、



岸さんの魅力は聞き上手。その優しい笑顔に誘われて、ご利用者の皆さんも職員もいつの間にかいろいろな話を聞いてもらっています。

続いて、加賀谷洋子さん。

加賀谷さんは明るくて、楽しくて、ちょっぴりおとぼけ。昼休みの、ご利用者の皆さんと加賀谷さんとのUNOタイムは大笑いの連続。でも、手工芸クラブでは、私たちの頼れる先生です。



松ノ木ふれあいの家がスタートしてすぐに、ボランティアに来てくださるようになった岸さんと加賀谷さん。ご利用者の皆さんも私たち職員もいつもお二人をお待ちしています。これからも、どうぞよろしくお願ひします。

サンフレンズだよりのこれから...

ご利用者、ご家族、地域の皆様、いつもサンフレンズだよりを愛読いただきましてありがとうございます。No.32はいかがでしたか？

No.30(2006年3月25日発行)から、カラー印刷になり、皆様のご様子や笑顔を、より鮮明にお届けできるようになりました。さらに、今号からは発行日を奇数月(1,3,5,7,9,11月)の20日とし、内容をリニューアルしました。上井草園や各ふれあいの家の行事については、各事業所が発行するおたよりで楽しんでいただき、サンフレンズだよりの場合は、法人から皆様に広くお伝えする内容とします。

今後も、サンフレンズだよりをよろしくお願ひいたします。ご意見、ご感想をお待ちしています。

サンフレンズだよりのホームページへのご意見・ご感想をお寄せください

本部事務局 電話:3394-9833
FAX:3394-9834
担当:星
ホームページアドレス
<http://www.3friends.or.jp>
E mail アドレス
Kamiiigusa@3friends.or.jp

法人への寄付金を賜り厚く御礼を申し上げます。

(2006年5月1日から2006年6月30日までにご寄付をいただいた順に掲載)
浦島邦夫様・匿名希望1名様

納涼祭・夏祭り

恒例の納涼祭・夏祭りの季節がやってきました。今年も、各事業所で趣向を凝らして盛大に開催します。詳細は、各事業所にお問合せください。

ご家族の皆様、ボランティアの皆様のご参加をお待ちしております。



事業所	開催日	主なプログラム	電話
納涼祭 上井草園	8月20日(日)	屋台・盆踊り・コンサート	3394 - 1094
納涼祭 上井草ふれあいの家	8月21日(月)・22日(火)・23日(水)	模擬店：的あて・写真館・ヨーヨーつり 合同プログラム：盆踊り・スイカ割り	3394 - 9831
夏祭り 和田ふれあいの家	8月23日(水)・24日(木)・25日(金)	午前：写真館 午後：縁日(かき氷・お好み焼き・ヨーヨーつり・射的)・スイカ割り・盆踊り	3312 - 9556
納涼祭 和泉ふれあいの家	8月7日(月)・8日(火)・9日(水)	テーマ『沖縄メンソーレ』 沖縄をテーマにしたゲーム・南国写真館・沖縄のおやつ・氷・南国ジュース(模擬店4店)・金魚つり・カチャーシー(沖縄民舞)	3321 - 4808
夏祭り 松ノ木ふれあいの家	7月31日(月)・8月1日(火)・2日(水)	フランクフルト・かき氷・輪投げ・盆踊り・すいか割り	3318 - 2660
大夏祭り 永福ふれあいの家	8月17日(木)・18日(金)・19日(土)	屋台：たこ焼き・かき氷・わたあめ 模擬店：写真館・ヨーヨー釣り・輪投げ 合同プログラム：エイサー・盆踊り	3327 - 5811

お詫びと訂正

サンフレンズだより No.31 (2006年5月25日発行)におきまして、編集部の手違いにより、感謝録の一部が欠落いたしました。掲載できなかったのは下記の皆様です。お詫びし、訂正いたします。

記

サンフレンズ応援団に寄付をいただいた方 (2005年4月1日～2006年5月15日)

杉並・老後を良くする会・西荻グループ様、高橋史子様、福益仙三様、森川方子様、立教女学院卒業生様、匿名希望様